



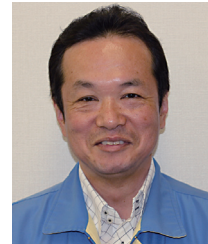
上海梅龍鎮伊勢丹「ジャパンフェア」



京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国をご紹介します。

今回は・・・
中国進出企業
REPORT

株式会社野田屋
代表取締役 野田 勝広



所在地：京都市下京区朱雀宝蔵町34
TEL:075-311-1155
事業内容：全国料亭・ホテル・居酒屋等への高級珍味、日本料理食材(卸)

野田食品貿易(上海)有限公司

所在地：中国上海市徐匯区裕徳路168号
設立：2010年3月
事業内容：日本料理店・日系スーパー等への食材(卸)

現地拠点の必要性を感じて

野菜の加工食材等を中国から輸入し日本で販売を行っておりますが、中国の仕入先を訪問するたびに、上海に日本料理店が増えてきていると実感していました。当時、沿岸部での生活水準が上がってきており、日本料理を好む中国人が増え、今後も日本料理店が増加すると思い、上海での展開を考えたようにになりました。

2008年から中国の食品展示商談会に出展し始めましたが、現地企業へ販売するにあたって拠点開設の必要性を感じました。欧米の各店舗には直

接日本から食材を送ることができませんが、中国では通関が難しく、拠点があれば販売が困難だったからです。そこで、2009年9月に法人設立の準備を始め、2010年3月に登記、8月によりやく営業を開始することができました。中国では通常は準備から半年ぐらいで営業開始できるのですが、食品の取り扱い業者は食品の衛生許可・酒の販売・貿易など多くのライセンス取得が必要となり、準備から1年程かかりました。

上海を拠点に事業拡大

上海では、日本料理店や日系スーパー、飛行機の機内食等に食材を販売していますが、漬物や味噌、しょうゆなど9割以上を中国国内の日系企業から現地調達しています。これは、業務用で使用する食材なので輸入品では高くなることや通関での

トラブルを回避するためです。また、日本では総合食品卸売問屋からあらゆる商品を購入することができるのですが、中国ではこうした機能を持つところがなく、商品ごとに直接仕入れを行い販売しています。仕入先を探すことは容易ではなく、展示会で仕入企業を探し、徐々に商品アイテムを拡充させてきました。事業が軌道に乗るまでに3年程かかりましたが、上海を拠点にさらに事業を拡大させていく予定です。

また現在、大連の企業から日本食材の取り扱いをしたとの依頼があり、我が社の大連営業所として販売をスタートさせることとなりました。大連は日本企業が多く進出しており、これから期待ができる地域であります。今後は、成都などの中国内地域にも営業範囲を広げていきたいと考えています。

私が紹介!



●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●

株式会社COSMO 事業開発サポート部
マネージャー 河野 隆

中国は今こそ日系飲食店のビジネスチャンス

中国、特に上海市は飲食業界の激戦区です。購買力の高い市場に欧米、韓国、中国各地から多種多様な飲食店が進出し、日々激しい戦いを繰り広げています。舌の肥えた中国人消

費者は、高いサービスを要求するようになってきている一方、相応の対価も払えるようになってきているので、料理とサービスを常に高いレベルに維持できる日本の飲食店は、今こそビジネス展開の好機となり得ます。一店舗目が良い評判で維持できれば、ショッピングセンターなどから低家賃等の好条件で出店の依頼が来ます。収益は好条件下の二店舗目以降で確保できます。品質やサービスに自信がある飲食店は今こそ進出を検討してはいかがでしょうか。

アジアビジネス相談デスク 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク(産業振興部内)
TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html